

～ 子どもたちが学校、地域で笑顔で輝けるように～

## ～進路情報～

**保護者施設見学会**

9月30日（水）に、石井町の障がい者支援施設 有誠園を訪問しました。5名の保護者が参加されました。説明をしていただきながら施設内を見学し、その後質疑応答の時間をとっていただきました。参加者からの質問に丁寧にお答えいただき、充実した見学会となりました。

今後、見学したい施設や実施する時期等で希望がございましたら、地域支援課まで担任を通じてお申し出ください。

**とくしま・すだちサポート事業 スキルアップ研修会**

10月26日（月）に教員を対象としたスキルアップ研修会を実施しました。「福祉施設における作業で求められるもの」をテーマに、障がい者支援施設 眉山園よりサービス管理責任者の方をお招きし、作業学習の授業を参観していただき、作業内容等についてのアドバイスをいただきました。研修の成果を今後の指導の充実に生かしていきたいと思っております。

**とくしま特別支援学校技能検定（ICT）**

11月5日（木）に特別支援学校技能検定（ICT）が行われました。2名の高等部生徒がICT（ワープロ入力）部門に参加し、それぞれ4級と7級に合格しました。

**障がい福祉サービスの利用申請**

特別支援学校高等部を卒業予定の生徒は、卒業後に利用を希望する福祉サービスの利用申請を、10月中に各市町村に対して行うことになっています。今年度高等部を卒業する3名も、すでに申請を済ませています。

障がい福祉サービスの利用については、「徳島県がいが者（児）福祉のしおり」に書かれています。利用申請から支給決定・サービス利用までの流れについても書かれていますので、ぜひご活用ください。

「徳島県がいが者（児）福祉のしおり」は、インターネットでも見る事ができます。「福祉のしおり」で検索してください。

**ひのみねスマイル隊のメンバーが徳島赤十字乳児院を訪問しました。**

11月13日（金）、徳島赤十字乳児院を訪問してきました。今年度に入り、2回目の訪問になりました。最初は「何をしてくれるのだろう…」というドキドキした子どもたちの表情が見られましたが、手遊び歌やパラシュートなどの活動と一緒に活動するうちに、少しずつ慣れて笑顔が見られるようになりました。



## 食具・食器「紹介コーナー」

### Q 食具や食器はどのような物を選んだらよいですか。

食べる機能の実態に合ったスプーンやコップ等の食具を選択することは食べる機能の向上にとっても大切な要素です。いくつかの食具や食器を紹介します。

#### ①スプーン

固形物摂取では、食べる機能に問題がある場合はボール部が浅く小さいものを選びます。スプーンの幅は口の幅と同じか、やや小さめにします。水分摂取の場合は、固形物のスプーンよりも大きくボール部が深いものを使います。一回に飲み込むことができる量が入る位の大きさにします。



自食の練習をしていて指先に力が入りにくいお子さんには握りやすいように柄を太くしたもの、手首を回すことが難しいお子さんには曲がりスプーンを使ってみるとうまく食べることができます。左のスプーンはトレー用レジン(歯科で使用する樹脂)を柄の部分につけて握り込みやすいようにしています。下のスプーンはスプーンの角度を自由に変えることができます。また柄の部分がスポンジ素材で握り込みやすくなっています。

#### ②コップ

支援者が量を調節しやすいように中が見える透明なものが適切です。

切り込みを入れたコップは鼻があたらない、支援者が口唇の状態(水面に上唇がついているか)を確認しやすい、口唇の介助をしやすいなどの利点があります。



#### ③お皿

スプーンですくいやすいように傾斜がついているお皿があります。手を添えて持ちやすいよう食器のふちが幅広になったものや底に滑り止めがついているお皿もあります。

☆学校ではここで紹介した食具・食器以外にも食事に関するグッズを企画総務課のほうで数点保管管理しております。給食時等で使用して試してみたり、見本として見たりすることが可能です。担任を通じて企画総務課員までいつでもお声かけください。